

植栽管理の見直しとこれからの取組について

稲毛スカイマンションAB棟管理組合 理事長 根本 芳雄

稲毛スカイマンションAB棟は昨年築35年目を迎え、一昨年には大規模修繕を無事終了しひと段落したところです。

理事会役員2年目となり活動にも慣れ、少し気持ちに余裕が出はじめた春先、マンション内を改めて見渡すと、シンボルツリーである大きなクスノキの新緑が電線に接触し、また生垣の一部は立ち枯れ、道路際の植込みのサツキの花もまばらに咲き、植込みには竹と雑草が生い茂り、過去十分な手入れがされていないことに気がつきました。当然予算の問題もあったのかと推測しましたが、住む側のメンテナンスだけではなく、木々たちにも住みやすい環境を作る必要があるのではと考えるようになりました。そこでまず現状を把握する必要があると考え、新築時の外構計画図と現状とがどうなっているのか？



また稲毛スカイマンションと規模や築年数など近い条件のマンションの緑がどうなっているのかを調べました。

すると以前この「ふるさとみどり」でご紹介された稲毛スカイタウンさんのホームページを見つけました。そこには敷地内の緑や花を住まわれているみなさんで管理をされていることや樹木診断をされたことを書かれていました。更に良く調べると無料で樹木診断をしていただけることが分かりました。早速、千葉市緑化推進協議会の満富会長へご連絡しお話を伺い、理事会の承認を経て加入し樹木診断を行うことになりました。

当日は夏の暑い日ということが影響したのか、参加者がごく少数で、大変恥ずかしいところをお見せしてしまいました。これが当マンションの現実だと受け止めて、前向きに今後どうすべきかと切り替えました。樹木医の大矢先生からは木が大きく成長し過ぎて枝と枝が重なり合っているところ、新築当初から密植状態だったことなどのご指摘をいただきました。またオレンジ色のかわいい花を咲かせるナガミヒナゲシは外来種で繁殖率が高く悪影響を及ぼすなど、多くの事を学ばせていただきました。今後の課題として取り組んで行きたいと思っています。大矢先生、千葉市緑化推進協議会の満富会長には様々なお話をいただき、新しい発見が出来たことは当マンションにとって大変大きな財産になったと思いました。ありがとうございました。

私事ですが第17期「**緑と花の地域リーダ養成講座**」に参加し11月に無事終了したところです。現在は中央区にあります「みなとのコミュニティーガーデン」でボランティア活動をしながら勉強をしているところです。更に組合の活動として来期、(仮称)「**緑と花の会**」を立ち上げる予定です。お手入れの行き届いた緑や花がマンションの資産価値を高め、人と人とのコミュニケーションが増えていけば良いと考えております。近い将来、我々の手で管理した木々や緑を再診断いただけたらと考えています。

以上